

(挨拶をする博松愛労連議長)



愛知地方本部第45回定期大会が開催されました。来賓として藤原全国一般中央本部副委員長・榑松愛労連議長が挨拶されました。

9月24日 地方本部定期大会開催

次世代に繋ぐ新体制に！

について全員賛成で採択されま

一般愛知の現状と問題点、今後の課題など、組織の根本的なところで意見交換をし、組織統一という結論に達しました。また、これから執行部体制は現役世代を中心に運動をしていくべき、あつた分会やF21はそれをフォローしていくという基本スタンスで今期の地本執行部体制を作つていくことにしました。向こう1年間は、あいち支部と地本の執行部は合同で執行委員会を開催し、今までの両者による二重構造的な組織運営を解消します。

委員長	煤本国治氏（アクリル分会）
書記長	恒川義朗氏（ナトコ労組）
執行委員	金川佳生氏（ナトコ労組） 山田正吾氏（アクリル分会）
会計監査	寺西茂和氏（ナトコ労組） 稻垣清貴氏（ナトコ労組）
特別執行委員	黒島英和氏（ナトコ労組） （21支部）
※退任執行委員・三役	（小池 氏、國村氏、西正氏、大戸氏）
※今後あいち支部以外の支部	に執行委員の選出を働きかけて いきます。

(最後の団結頑張ろう



第三十七回定期大会 争議関係当事者

1日¹に開催される第32回支部定期大会において提起され、採決を受けた上で具体的に始動します。支部大会では活発な議論を期待します。

大会特集

と執行委員（寺井氏）、特別執
行委員（志水氏）、会計監査
(杉浦氏) の7名です

期に退職する松山さんお一人の送別会をかねて、一泊で行われました。これでナトコ争議の六名の当事者（被解雇者）が、全員退職することになるため争議の経過やその意義、成果を改めて確認し、職場の組合員に継承していくために、すでに退職したO B九名も参加しました。ナトコ争議の当事者六名も全員参加し、旧交を暖めました。

各議事は、全員の拍手で確認されナトニ争議の成果を継承し、組合の基礎としてさらに活動を発展させていくことを確認し、最後に団結ガンバローで終了しました。

午後六時半から、送別会が開かれ、松山さんの挨拶と乾杯の後豪華な料理に舌鼓を打ちながら仕事の事、組合の事、争議の思い出などで盛り上がりました。送別会の後は、一室に集まり、酒を酌み交わしながら、組合の現状や課題など、深夜まで熱い議論がかわされました。

支部委員長にも参加いただき、争議にもふれながらご挨拶を頂きました。

翌日は、朝食後に自由解散となりましたが、OBも含めて再会と、ますますの活躍を誓いながら閉幕しました。



日本アクリル分会 第四十六回定期大会

九月十八日、東海市勤労センターで全労連・全国一般労働組合あいち支部日本アクリル分会の第四十六回定期大会が行われました。

執行委員
副分会长
書記長



石田 正明
瀬戸 紀賢

分会长

林 義博
新役員 (写真は新役員)

(ナトコ争議当事者・現あつた分会員
恒川)

切実な要求を実現するためのストップも全員の賛成で確立。新組織部長の団結ガングバーで大会を終了しました。

今年は、安部内閣の「働き方改革」に反対し、働くルールの確立を求める特別決議も採択しました。

スターントは5月で6月から月6回のペースで頑張っています。交代勤務の中での開催ですが「学習の友」などを教材にこつこつ進めています。

アクリル分会では、昨年から今年かけて組合員が増え、新組合員対象の学習会を開催していました。

18日に安倍首相が衆院を解散する意向を固めたという報道があったので、19日(火)集会に集まつた人はみな「安倍は無責任、国民をなめている。」と、口々に怒りの言葉を吐き出しています。

（あつた分会 渡辺）

本で生まれ、もともと無かつた。国字（漢字ではない）と呼ばれている。という基本の話や労働者は闘つて人間を取り戻す話まで一時間三十分行いました。

会計監査・村井 真一



追記

連続して学習会を開催！



写真は9月26組合事務所で講師は伊藤さんです。
(日本アクリル分会 熊澤)



壇上に上がったママの会の30代の女性は「2年前まではこういう集会の横を通り過ぎていた私が、今ここで安倍打倒を訴えています。」と発言していました。

市民意識は着実に変わりつつあります。大会議事に先立ち恒例となつている愛知学習協会による学習があり、「働く」という文字は日大に加盟した新人もベテラン組合員と共に協力、年齢層の広がりを感じさせる大会となりました。

大会運営では、昨年から今年までに加盟した新人もベテラン組合員と共に協力、年齢層の広がりを感じさせる大会となりました。

（U）

安倍内閣の暴走を止めよう 共同行動・集会・デモ

編集後記



本号で今期の機関紙は最後になりました。今回は、大会特集ということでは地方本部、ナトコ労組、アクリル分会の定期大会の記事を掲載しました。地本・支部の組織的統合に向けて、これから的一年間は試行錯誤しながら進んでいきます。

あいち支部も昨年の12月に、それまでの専従依存の執行部から集団指導体制の執行部になり、組合員に見える活動に心がけてきました。まだまだ

紙媒体の機関紙の使命は薄れていません。来期は自世代を担う若者に機関紙作成をバトンタッチをしていきたいと思つています。地本・支部が発行主体になる予定です。